



美術館から見た八海山に大きな人道雲……。8月になってやっと梅雨明けの声を聞いたせいか、これからが夏本番のような気分です。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

◆作品コメントカード

7月22日より「八海山夢展」が始まりました。夢展では、出展者から作品に対するコメントを書いていただいています。撮影場所や言葉の意味、作品に込めた思いなど、読むと作品鑑賞に深みが出るかと思えます。今年から印刷したカードを掲示するようにしました。読みやすさを重視したのですが、いかがでしょうか。ただ、活字にするにはパソコンで入力することが必要です。百人程度となると結構な分量で、さて開催までに間に合うのかな、どうするか……と検討し、なるべく時間をかけず、ミスを少なくするように、いくつか試作を作りました。それで、文字数も決め、原稿用紙も作り、最終的に実行委員会で承認していただきました。

◆旬を摂りこむ

「現代型栄養失調」ということが言われて久しい。つまり、現代人は加工食品の食べすぎで微量栄養素のビタミンやミネラルが不足していると言われている。そこで手短に解決してくれるのがサプリメント。専門家によるとサプリメントを飲む意義は3つあるという。

①予防、②「不定愁訴」の緩和・解消、③症状の根本原因が栄養不足の場合。しかしその中身を調べていくと、意外に摂取しようとしている栄養素の他は様々な添加物が加味されているようだ。飲みやすくするために、合成甘味料、香料、保存料等々。タイプは医薬品か食品に分けられる。当然医薬品は値段も高く栄養素の量が多く、効き目もよいようだ。ただし栄養同士や薬との飲み合わせ、過剰摂取の危険もあり、かかりつけのドクターに相談してから飲用したほうがよいようだ。しかし、旬の野菜や食材を使い、自分たちで包丁を握って料理すれば済むことだと思ってしまう。今日も朝採りのトマトとキュウリは美味しかった。

◆夏の一品

毎日暑い日が続く、料理の時は、コンロの前に立つのが嫌になります。

美味しい夏野菜は油との相性が良く、天ぷら

らや素揚げなどにして度々食卓にのります。いつも代わり映えのしないメニューで、何か違う調理法はないかなと思っていました。

先日訪れた浦佐のビストロ・リールで、コース料理の中に、ズッキーニのフリットがありました。輪切りにした黄色と緑のズッキーニと白いお皿が、爽やかで涼しげな一品でした。衣はサクツとして中はジューシー。優しい味付けが参加した女性陣に大変好評でした。冷えた炭酸水を使うことが美味しく揚げるコツだそうです。シェフのようににはできないと思いますが、今年の夏のメニューに加えたい一品になりました。また、店内には現在開催中の「八海山夢展」に出展している高橋正則さんの油絵が飾ってあります。ぜひ、ご覧ください。

(佐藤良子)

◆暑氣払い

今年も暑い夏がやってきました。夏と言えば、海にスイカ、祭りに花火に、そしてビール！なんと言っても、キンキンに冷えたビールが美味しい季節です（私は一年中、美味しいのですが）。そして、ビールと言えばバーベキュー。ふと思いつき、暑氣払いを兼ねて、バスケット部でバーベキューをすることにしました。ここ数年、余裕がなく、家族でバーベキューをしていなかったもので、子ども以上に気合が入りました。

午前中、子どもたちは練習、大人は買い出しと準備をし、昼過ぎから始めました。子どものためとは言え、当然、ビールは欠かせません。仲間と外で食べるバーベキューと、真つ昼間から炎天下で飲むビールは普段の数倍も美味しく感じました。さすが育ち盛り、子どもたちの食べることに食べることに。黙々と焼き、黙々と食べていました。お腹が満たされた後は、水風船で遊んだり、フリースロー対決をしたり。夏のいい思い出となりました。

(山口加奈子)

◆抽象絵画教室

前号にも書きましたが、今秋開催の現代アート展覧会（八色の森の美術展）に出品する作家の一人、山形県鶴岡市で子どもたちに絵を教えている結城ななせさんに講師をお願いした、抽象絵画教室が無事終了しました。

6月に浦佐小学校の3年生と4年生、合計4クラス。7月には、総合支援学校小学部と赤石小学校6年生の交流授業として、また、後山小学校では裏山のブナ林を会場に全校児童11人が参加してくれました。各回とも、子どもたちは、白い布に赤、白、青、緑、黄色の5色で思いっきり自由に色遊びを楽しんでいました。頭から足の裏まで絵の具だらけになる子もいて、講師の結城さんともども、子どもたちと貴重な時間を共有できました。

各校の先生方には準備などで大変お世話になり、感謝申し上げます。子どもたちの作品は同時開催する「八色の森の子ども絵画展」に展示します。どんな作品がとどくか、ワクワクしながら待っています。

(高橋良一)



八海山夢展「絵画部門」

「八海山夢展」は8月28日まで開催しております



個展開催にあたって

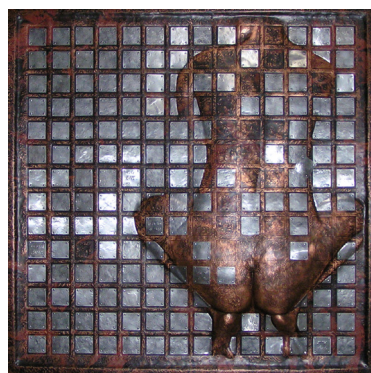
玉川 勝之

こんにちは。この秋、この素敵な池田記念美術館で皆さんに作品を観てもらえるかもしれないチャンスがありました。

私は長いこと、2000年続く茶道具などのメーカーに工員として勤めていますが、放課後や休日制作したいモノは、そういう伝統的な物とは少し違っていました。実は入門後、徒弟制の名残に懊悩し、気持ちが荒んでいくのですが、心ある先輩の勧めで始めた公募展への出品を機に、多様な心象表現を重ねることで解放されていきました。

作品には、主に有機的な表情を見せる銅板を使います。ヒト故の妄想を、可笑しみと低下品な味付けでお見せします。そして、いつしか、学問の美術とは別の鑑賞術で楽しんでいただいていると想像します。

美術館のパンフレットに「一隅を照らす」に続けて、新人の発掘も目的に据える記述がありました。はなはだくたびれた新人で恐縮です。ただただ、この（ある意味）危険な作家に声をかけてくださった勇氣に感謝いたします。



玉川勝之「defense defense (MB7)」

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

■第18回 八海山夢展

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ・Ⅱ ◎期間：7月22日(土)～8月28日(月)

地元美術愛好家を中心に、絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で約110人が出展中です。地元根ざした美術活動の発表の場として創設され、今年で18回目の開催となりました。絵画・写真・書道部門は地元の美術家を中心に、魚沼にゆかりのある作品を展示しています。水石部門は八海山から流れる水無川の名石・八海石を水の作品と一緒に紹介しました。また、工芸部門では、地元で制作された陶芸や木工・染織の作品を展示しています。

■玉川勝之展—負の振れ幅を大切に—

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：9月2日(土)～10月3日(火)

金属造形作家・玉川勝之氏の個展。玉川氏は新潟県燕市の鋳起銅器「玉川堂」で伝統工芸を受け継ぐ工芸家として活躍しながら、その技術を生かしてオリジナルなアートを制作しています。ユーモアとエロスを交えた作品には生命のエネルギーを感じるでしょう。金属造形の魅力を味わってください。

■アーティストトーク 9月2日(土) 16時～

■関連コンサート パーカッションと現代舞踊のステージ 9月23日(土・祝) 14:00～

出演 山下久樹(打楽器)+片桐美香(即興表現) ※入館料が必要です

■山下久樹さんは胎内市出身。キューバの国立民族舞踊団で伝統的なリズムを学び、世界各地の演奏ツアーで好評を博しました。2010年にはモントルー・ジャズフェスティバルに出演。

■片桐美香さんは阿賀野市でヨガスタジオを主宰しながら「感情」「成長」「空間」をテーマに即興表現に挑戦しています。

■8月28日までの常設展示：小泉八雲文学資料室、スポーツ文化資料室

※なお、1階多目的ホールではベースボールカード、相撲カードを展示中です

◎美術館の音楽情報

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」 ※参加無料です

8月13日(日) 11:30～ フルート・ピアノ

8月27日(日) 14:00～ フォークソングの日

特別企画 9月17日(日) 14:30～ ヴォーカルアンサンブル「サルーテ」コンサート

歌好きの仲間が池田記念美術館で歌うことを楽しみに集まりました。ヴォーカル8人とピアノで日本の歌を中心に歌います(参加無料)。

年間パスポートがお得です！

料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼント。



玉川勝之「minority blue -chirasi-」



玉川勝之「パース'オヴァパースンズ」

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedaaart.jp

【8月の休館日】

※水曜日(2日、9日、16日、23日、30日)
※8月28日(月)は最終日のため15時閉館
※8月29日(火)、31日(木)、9月1日(金)は展示替えのため休館となります